

総合分析

試験区分	一般（後期）
------	--------

制限時間	60分（理科2科120分）	大問数	全4問
------	---------------	-----	-----



出題分野

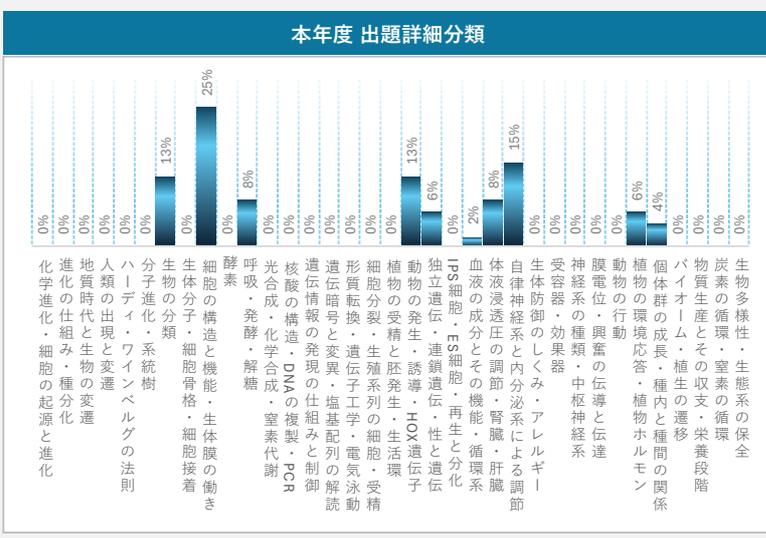
系統と進化	13%
生命現象と物質	33%
遺伝子	0%
生殖と発生	19%
生物の環境応答	25%
生態	10%

本年度 解答形式

答えのみ記...	論述 50%
----------	--------

本年度出題テーマ一覧

第1問	シロイヌナズナのABCモデル
第2問	菌類の特徴，パスツール効果
第3問	細尿管上皮細胞の膜タンパク質のはたらき
第4問	恒常性の維持



合格に要する能力（5段階）

知識力	3.8	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	1.9	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.3	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.6	式を組み立て、正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し、適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述あり
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項

特になし

総合評価

難度	2.6	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	78%
分量	45分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや少ない	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

標準的なバランスのよい問題で、高校での学習で十分に対応できる。

入試から見る大学が求める学生像

久留米大学(後期)は大問毎のレベル差が大きく、解きやすい問題は確実に満点を狙い、やや難の問題でいかに得点するかが合格への鍵である。一見、細かそうな知識が問われているが過去にも類題が出題されていることから、どれだけ過去問を研究しているかが重要となる。

総合分析 入力および

必須入力欄は白枠

入力不能欄は灰色

実施年度 2025 実施日 3月8日 大学名 久留米大学

校種 私立

試験区分 一般（後期）

制限時間

合格に要する能力		重み	設問別分析からの解答形式の集計	
知識力	3.79	1.0	本年度 解答形式	選択肢
論述力	1.92	3.0		0%
解析力	3.33	5.0		
計算力	1.63	2.0		
見極力	2.00	2.0		

難度 2.57 標準 最難を5とする問題自体の難度 分量

一次合格に必要な正答率（予想） 78% 高い正答率を要する

テーマ性 2.75 知識 1.58
典型 1.75 一問一答式 1.42

特記事項

入試の特徴と対策

特殊問題 数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述あり

入試から見る
大学が求める学生像

久留米大学(後期)は大問毎のレベル差が大きく、解きやすい問題満点を狙い、やや難の問題でいかに得点するかが合格への鍵で見、細かそうな知識が問われているが過去にも類題が出題されるから、どれだけ過去問を研究しているかが重要となる。

このファイルの所在

/Users/kitaryousuke/Desktop/とりあえずD組/0309/

© 2024 E-Dual Inc.

の保護解除パスワード

poqw

→ 校閲 → シートの保護解除

設問別分析

第 1 問		設問の解法に要する能力				出題詳細分類	
シロイヌナズナのABCモデル		知識力	3	論述力	0	動物の発生・誘導・Hox遺伝子	50%
生殖と発生		解析力	3	計算力	3	独立遺伝・連鎖遺伝・性と遺伝	25%
解答形式	答えのみ記述	難度	2.2	やや易しい		植物の環境応答・植物ホルモン	25%
必要な正答率	100%	分量	完答に要する時間		10分		
			かけてよい時間		15分		
設問の特徴							
分野横断型	5	テーマ性		考察	5	知識	
新傾向	5	典型		長文読解	3	一問一答式	
特殊問題	数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述なし						
特記事項	特になし						

第 2 問		設問の解法に要する能力				出題詳細分類	
菌類の特徴, パスツール効果		知識力	4.5	論述力	0	生物の分類	50%
系統と進化		解析力	3	計算力	3.5	個体群の成長・種内と種間の関係	17%
解答形式	答えのみ記述	難度	2.4	やや易しい		呼吸・発酵・解糖	33%
必要な正答率	60%	分量	完答に要する時間		10分		
			かけてよい時間		15分		
設問の特徴							
分野横断型	2	テーマ性		考察	4	知識	
新傾向	4	典型		長文読解	4	一問一答式	
特殊問題	数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述なし						
特記事項	特になし						

第 3 問		設問の解法に要する能力				出題詳細分類	
細尿管上皮細胞の膜タンパク質のはたらき		知識力	4	論述力	4	体液浸透圧の調節・腎臓・肝臓	25%
生命現象と物質		解析力	4	計算力	0	細胞の構造と機能・生体膜の働き	75%
解答形式	論述	難度	3.3	標準			
必要な正答率	70%	分量	完答に要する時間		15分		
			かけてよい時間		20分		
設問の特徴							
分野横断型	4	テーマ性		考察	4	知識	
新傾向	3	典型		長文読解	3	一問一答式	
特殊問題	数理生物学なし 生物物理なし ノーベル賞なし 範囲外問題なし 長文論述あり						
特記事項	50字の論述が2題課された。						